

奈良市役所抗議行動報告

民間委託・解雇攻撃に奈良市従の仲間と共に闘って

奈良市では、四月から下水道の完全民間委託をめぐる攻防が始まり、その中で現場の正規・非正規労働者の団結が生まれ、現場の闘いで三度の委託を阻止してきましたが、八月一日、ついに当局が委託を強行するとしたことに、反撃の闘いが開始されました。

七月二六日、我が支部も奈良市役所正面玄関前に百八十名の仲間と共に結集して、下水道の完全民間委託と非正規労働者への解雇攻撃に怒りの声をあげました。

集会では、下水道支部の支部長から、下水道の民間委託は自分たちの職場がなくなると一年前に言われてからの苦悩と管理職の裏切りへの怒りが出され、しかし団結を崩さず絶対反対で闘えば勝てる、労働者の側に力があるとなかなかできたと表明されました。

また教育支部の松本支部長が基調を行い、下水道の民間委託との闘いが、奈良市従に新しい団結を生み出している事、労働組合をつぶさないと民営化も解雇もできないこと

もハッキリしたと述べ、今日集まったこの団結をもっと拡大して資本家と労働者全体の力関係をひっくり返そう！と訴えました。そして労働運動に人生をかける決意が表明されました。



(↑) 教育支部松本支部長の基調提案

今、どこでも民営化・外注化、非正規職化と労働組合が闘うのかどうか問われています。

奈良市従ではこの集会・デモの力を背景に、八月一日強行を許さず四度委託を阻止しました。団結して闘えば勝てる！官民連帯・地域共闘で闘おう！

昌一金属支部 K



組織を強化拡大し、階級的労働運動の発展をめざそう！